

# 入善町議会報告

発行 議会会派 日本共産党  
2025年 9月25日 入善町春日251  
電話・FAX 74-0819

## 9月議会



井田義孝議員

松田俊弘議員は「猛暑から子どもたちを守り、避難所としての環境改善に、体育館のエアコン設置を急ぐべきだ。政府も新たな交付金制度を設け促している」と質しました。

田中教育委員会事務局長は「交付金の補助要件である断熱性確保について、どのくらいの断熱改修が必要な」と質しました。

松田議員は「今年度からでも調査すべきだ。遅くなれば多くの自治体と競合することになる」と質問しました。

井田議員は「ここ3年間の免許返納者の推移はどうか。4年度は162人、令和5年度で118人、令和6年度が138人だ。かつてのらんマイ・カーで『バス停が遠すぎだ』と質しました。

松田議員は「空調設備の整備には一定の時間がかかる」と質問。

石破首相が辞意を表明した。町のバリアフリー基本構想の進捗と合わせて大きく前進したものと捉えている」と答弁。

## 体育館のコンエレベーター

## 子どもの健康と避難所環境に設置は急務



望まれる体育館のエアコン

# あいの風とやま鉄道設置意向を表明



井田義孝議員

今年の3月議会で、日本共産党の井田義孝議員は入善駅にエレベーターを設置するよう質問しました。

これに対し町は、入善駅にエレベーターを設置するため、駅周辺バリアフリー基本構想を作成すると表明しました。

その後ある新聞が8月に「泊駅にエレベーター設置が決定、入善、黒部駅にも計画します。

竹島副町長は「国の補助画中」と報じました。

9月議会の代表質問で井田議員は「入善駅への具体的なエレベーター設置計画が進展したのか」と質しました。

吉取締役会長から「多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅とも開催されたあいの風とやま鉄道利用促進協議会で、日吉取締役会長から『多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅とも

公共交通買い物や通院のためのバス復活でウチマエくんの不便解決を



町営バス「のらんマイ・カー」

町内の公共交通は、のらんマイ・カー・舟見線と新屋線のほかは、乗合タクシー

のウチマエくんが町内公共交通の主力となっています。

しかし予約の集中する朝は1週間前から予約をしなければならない、乗合なので、迎え・到着時間の見通しが立たないなど、ウチマエくん独自の問題点が指摘されています。

石破政権のあとに、より右翼的な政権が出現するのを懸念してか、石破やめるなデモが開催されたり、選挙で連敗し国内政治でも結果が出せない政権に石破辞めろデモが開催されました。

石破政権のあとに、より右翼的な政権が出現するのを懸念してか、石破やめるなデモが開催されたり、選挙で連敗し国内政治でも結果が出せない政権に石破辞めろデモが開催されました。

9月定例会では、プレミアム商品券発行などを含む一般会計補正予算と職員の休暇に関する条例改正は全て賛成全員で可決されました。

リーベース構想の策定、その後あいの風とやま鉄道の中長期計画へのエレベーター設置位置づけ、という手順は変わりないが、6月23日に

公共交通買い物や通院のためのバス復活でウチマエくんの不便解決を

エレベーター設置の方向で進んでいるとの発言があつた。町のバリアフリー基本構想の進捗と合わせて大きく前進したものと捉えていました。

井田議員は質問の冒頭、「高齢者や障がい者団体等の代表者などで組織する『入善町バリアフリー推進協議会』を設置した。今後は、アンケート調査や委員による現地点検を実施するなどして協議を重ね、今年度中に策定する計画だ」と答弁。

井田議員は「入善駅への具体的なエレベーター設置計画があるのか。3月から何が進展したのか」と質しました。

今年の3月議会で、日本共産党の井田義孝議員は入善駅にエレベーターを設置するよう質問しました。

竹島副町長は「国補助画中」と報じました。

9月議会の代表質問で井田議員は「入善駅への具体的なエレベーター設置計画があるのか。3月から何が進展したのか」と質しました。

吉取締役会長から「多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅とも開催されたあいの風とやま鉄道利用促進協議会で、日吉取締役会長から『多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅とも

公共交通買い物や通院のためのバス復活でウチマエくんの不便解決を

エレベーター設置の方向で進んでいるとの発言があつた。町のバリアフリー基本構想の進捗と合わせて大きく前進したものと捉えていました。

井田議員は「入善駅への具体的なエレベーター設置計画があるのか。3月から何が進展したのか」と質しました。

今年の3月議会で、日本共産党の井田義孝議員は入善駅にエレベーターを設置するよう質問しました。

竹島副町長は「国補助画中」と報じました。

9月議会の代表質問で井田議員は「入善駅への具体的なエレベーター設置計画があるのか。3月から何が進展したのか」と質しました。

吉取締役会長から「多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅とも開催されたあいの風とやま鉄道利用促進協議会で、日吉取締役会長から『多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅とも

公共交通買い物や通院のためのバス復活でウチマエくんの不便解決を

エレベーター設置の方向で進んでいるとの発言があつた。町のバリアフリー基本構想の進捗と合わせて大きく前進したものと捉えていました。

井田議員は「入善駅への具体的なエレベーター設置計画があるのか。3月から何が進展したのか」と質しました。

吉取締役会長から「多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅とも開催されたあいの風とやま鉄道利用促進協議会で、日吉取締役会長から『多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅とも

公共交通買い物や通院のためのバス復活でウチマエくんの不便解決を

エレベーター設置の方向で進んでいるとの発言があつた。町のバリアフリー基本構想の進捗と合わせて大きく前進したものと捉えていました。

吉取締役会長から「多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅とも開催されたあいの風とやま鉄道利用促進協議会で、日吉取締役会長から『多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅とも

公共交通買い物や通院のためのバス復活でウチマエくんの不便解決を

今年も猛暑でコメの品質や収穫量が懸念されていますが、新聞発表等では富山県の作況指数は年並みとのことです。しかし、農家に支払われる概算金が大幅に上がり、新米の値段の高騰が報じられています。



井田義孝議員

林振興センターによれば、コシヒカリは平年より穂数が多く穂数が多いと見

か」と質しました。  
お米券の支援策は  
井田議員は「もし高い  
コメを並んで買うしかな  
い事態になつた場合、町



入善産コシヒカリの新米

松田議員は「保育士から負担が大きいとの訴えがある。国に配置基準の改善を求める」と同時に、町が保育士を増やすなど抜本的な負担軽減策を取るべきだと質しました。

野村結婚子育て応援課  
は多様化の一途をたどり  
を見守りながら、必要に応  
じて的確に判断していきた

井田議員は「当町のコメの作況はどうか。新米の値段の見込みについて把握しているか。流通大手による買い占めなどで、縁故米などのコメ供給に不安を感じている人がたくさんいる。コメ供給の見通しをどう捉えている

込まれるので収量もやや多いと予想されるとの事だ。JA全農富山では値段が5kgあたり4000円を超えないよう概算金を決定したとの事。供給量も充分あるとの事だ」

## 令和7年産米 町長 平年より収量多くなると予想 5キロ4千円を超えないよう概算金設定

井田議員は「1人世帯、2人世帯の使用料は県内で最も高い。特に1人世帯は黒部市の2倍だ。逆に5人世帯以上になると入善町

## 保育士の増員で負担の軽減を 異常な国の配置基準を基準とせずに

松田議員は「各校長とコーディネーターとの協力体制は確立されているか」と質しました。

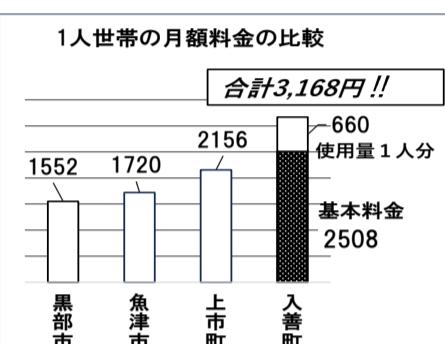
小川教育長は「これまで、たしてもらっている」と答弁。松田議員は「センターに保護者と学校との共通理解が進まない面もあったことから、専門職として配置した。小・中学校に精力的に出向いてもらい、保護者と学校をつなぐ役割を果

長は「町では、余裕を持つとい」と答いました。

1人世帯の  
下水道使用料

# 5人世帯一人分の2.7倍 不公平な料金体系の見直しを

軒あたり2508円という高い基本料金を徴収しているため、1人世帯の使用料が5人世帯の2.7倍と不公平な料金体系となっています。



松田俊弘議員

金は廃止し、水の使用量に応じた料金体系に近づけるべきだ」と質しました。

国友水道課長は「少人数世帯の負担を軽減すると、多人数世帯の負担が重く

なるということを議会に示し議論していただいた。現時点で料金体系の見直しは考えていない」と答えました。

松田議員は「実態は多人数世帯の割安分を少人数

世帯が負担している。使用料に基本料金を設けているのは国内ではまれで、早急に見直すべきだ」と質問。竹島副町長は「決して今この料金体系がベストと思つていないが、(議会)特別委員会と相談しながら、今まで財政的支援を行なうべきだ」と質問。

国友課長は「高齢者世帯への財政支援は、現時点で難しい」と回答しました。

## コーディネーターの継続的な養成を

小川教育長は「これまで、たしてもらっている」と答弁。

教育長は「学校内に配

置されているコーディネーターは、学校内の特別支援教育に係る調整を行つていている。また年3回、センターに運営する研修で資質向上を図っている。実践と研修で、特別支援教育を牽引できる人材の育成につなげたい」と答えました。

教育長は「学校内に配置されているコーディネーターは、学校内の特別支援教育に係る調整を行つていている。また年3回、センターに運営する研修で資質向上を図っている。実践と研修で、特別支援教育を牽引できる人材の育成につなげたい」と質問。



うるおい館内の教育センター

### 保育士一人が受け持つ子どもの人数

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
日本	6	6	15	25	25
カナダ	4	4	8	8	8
ニューヨーク	4	5	7	8	9
オーストラリア	4	5	11	11	11
スウェーデン	4	4.3	5.6	5.6	5.6
イギリス	3	4	13	13	13
韓国	5	7	15	20	20
日本以外の平均	4	5	10	11	11

ご意見やお問い合わせは日本共産党入善町委員会まで

ホームページ  
<https://jcpxyuzen.jp/>

